令和８年度　健康福祉委員会資料

１　所管事務の調査（報告）

（２）救急車のデザイン変更について

令和８年１１月１２日

消　　防　　局

（警防部　救急課）

救急車のデザイン変更について

1　概要

救急車の視認性向上による安全性の確保と救急活動体制の更なる向上を目的に救急車のデザインを大幅に刷新します。

本市において、救急車のデザインを大幅に変更するのは初めての取組で、令和８年度中に５台の救急車のデザインを変更し、以後は車両の更新に合わせて、市内全ての救急車をこの新しいデザインに変更していきます。

旧デザイン



2　新デザイン

新デザイン





車両側面下部に市松模様のバッテンバーグマーキング

車両の後部には黄色と赤色の交互の帯で構成されたシェブロンマーキング

車両の前面及び側面には「赤・緑・青」の三色のライン

デザイン変更の目的

救急車の視認性向上による安全性の確保

- 交差点に進入した際の事故リスクの低減
- 車両を停車させて活動する際の隊員の安全確保
- 夜間における視認性の向上

救急活動体制の更なる向上

- 救急車へ関心を持っていただき、救急業務への理解促進
- 子どもたちが消防の仕事に関心を持つことで、将来の消防人材の確保

3　夜間における視認性の向上

平成２４年、他都市の高速道路上で活動中の救急車両が夜間に十分な視認性を確保できない状況となり、後続車両に追突される重大な事故が発生しました。

これを受け、総務省消防庁から再帰性のある反射素材についての提言があり、再帰性に富んだ反射素材が全国的に普及しました。

旧デザイン





バッテンバーグマーキングとシェブロンマーキングが反射し視認性が向上

※夜間に救急車の左側後方からライトを当て見え方を比較

（出典：日臨救急医会誌（JJSEM）2020;23:62-7）

4　広報

令和８年１１月１２日（木）に、救急車のデザイン変更について報道発表を行います。

令和９年１月３１日（日）に、市役所アトリウムで行う消防フェアにおいて新デザインの救急車をお披露目し、市民の皆様に広く知っていただく機会とします。